



2025年6月京都府聴覚言語障害センターで、社会福祉法人京都紫明福祉会が運営する「ここリンク山城」(就労継続支援B型事業所)による販売がありました。

この日は、同センター2階が直売所に早変わり。みなみかぜの利用者や職員で大賑わい、採れたてのズッキーニや万願寺とうがらしなどの夏野菜を片手に手話で交流を楽しみました。当法人は、今後も生産品販売や交流など連携を続けていきます。

ここリンク山城でも販売しています！
黄色いズッキーニは甘くて、緑色はちょっと苦い味ですよ♪

ふくより
農業指導員：福頼伸介さん

INDEX

- P2 盲ろう者向け通訳・介助員って何？ (京都府聴言センター)
- P3 成年後見制度勉強会in若木寮 (京都市聴言センター)
- P4 梅の木寮ショートステイに行こう (いこいの村)

- P5 法人理念のさらなる追求に向けて② (法人事業本部)
- P6 「職員紹介」「お知らせ」

盲ろう者向け 通訳・介助員 って何？

みなさん、盲ろう者向け通訳・介助員をご存知ですか。

視覚と聴覚に障害のある盲ろう者は、日常生活や社会活動において多くの困難に直面しています。特に情報の取得やコミュニケーションや移動が難しいため、社会とのつながりを持つことが困難になります。そんな中、盲ろう者向けの通訳・介助員（以下、通訳・介助員）は、盲ろう者が自立した生活を送るために欠かせない存在となっています。通訳・介助員は、盲ろう者その他の人とのコミュニケーションをサポートする役割を担います。具体的にいうと触手話や弱視手話等を使った通訳を通して、盲ろう者と周囲との橋渡しをします。また、通訳だけでなく盲ろう者が安全に移動できるように介助するなど、日常生活の中で通訳や移動が必要な場面で活動しています。



触手話でコミュニケーション中

派遣現場の一例

盲ろう者のAさんは一人暮らしで、買い物に行きたい時は、通訳・介助員の派遣を利用されています。通訳・介助員はお店までの行きと帰りの手引き、店内での購入商品の説明や店内のメニュー、人の混雑状況等、周りの情報を伝えます。このような支援は盲ろう者が社会から孤立せず、地域で暮らすために欠かせません。



移動介助中

通訳・介助員になるには

通訳・介助員には、高度な専門技術が求められます。盲ろう者ごとに異なるニーズに対応するため、柔軟な対応も必要です。相手の意図を正確に理解するために盲ろう者の手話を読み取るだけでなく、表情や反応を見て判断する力や、プライバシーを尊重した倫理的な対応も重要な要素となります。そのためには、盲ろう者向け通訳・介助員養成講座の中で84時間かけて、知識・技術を学び、通訳・介助



員の資格を取得します。しかし、京都府内で派遣を利用している盲ろう者の生活を支える通訳・介助員の数はまだまだ足りません。盲ろう者が社会参加を実現し、自立した生活を送って

ただけるように願い、ぜひ、みなさんも、盲ろう者向け通訳・介助員養成講座を受けてみませんか？
(情報提供施設第二部 大久保ひろみ)

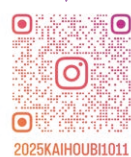
京都府聴覚言語障害センター開所10周年記念企画 開放日イベント開催！

日時 2025年10月11日(土) 10時～15時
会場 京都府聴覚言語障害センター

- 予告
- 屋外でステージ発表！
 - マルシェにキッチンカーが来るよ！
 - 本格的なモルック体験会。
 - アート体験では窓ガラスに絵を描けるよ



最新情報は
Instagramを
チェック！



2025KAIHOUUBI1011

2025年度 京都府「聞こえとコミュニケーションのサポートセンター事業」です

聴覚障害者の職場での合理的配慮を学ぶ

配信日 9月27日(土)～10月11日(土)

QRコードまたはURLからお申し込みください。

<https://lstep.app/form/67605/zadaOy/545570>

※申込後配信開始約1週間前にURLを送付します

オンデマンド
配信



申込み・
問い合わせ先

社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会
京都府聴覚言語障害センター

TEL (0774) 30-9000
FAX (0774) 55-7708

成年後見制度勉強会 in 若木寮

障害者支援施設 京都市聴

覚言語障害センター 若木寮

(以下若木寮) は京都市聴覚言語障害センターの3階にある入所支援施設です。施設には20代〜80代の主に聴覚に障害がある方々が生活されています。現在28名の方が生活されていますが、コミュニケーション方法はさまざまで、手話・身振り・筆談・イラスト等伝える手段は一人ひとり違います。



勉強会ががんばっています！

若木寮の今

若木寮では現在65歳以上の高齢者が11名おられます。将来のこと、自己決定すること、財産管理、身上保護等さまざまな不安を抱えておられます。こうした不安を軽減するための社会資源として成年後見制度があり、利用するための支援を、若木寮の職員が担っています。

まずは職員で学ぼう！

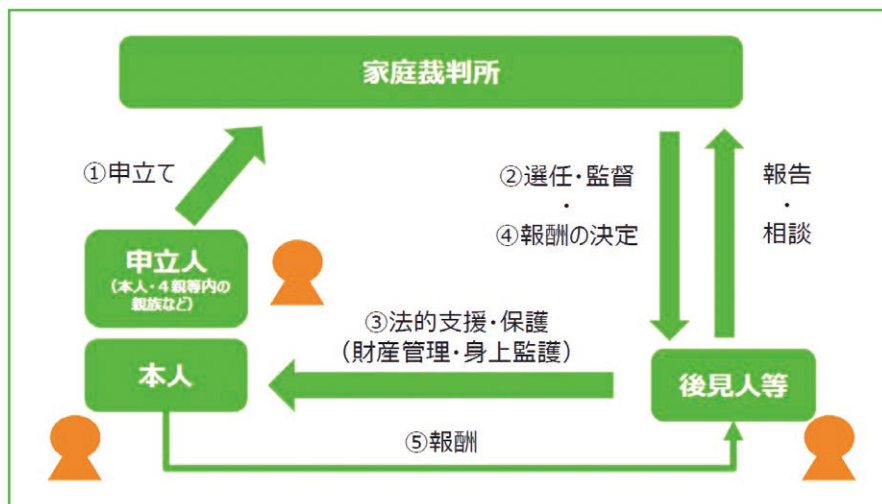
利用者の多くは聴覚以外の障害を重複されています。そのため一人ひとりコミュニケーション方法が異なり、制度を利用するための申請手続き等を説明する時には、個々に合わせた伝え方が求められます。その上で、利用者の状況に合わせてわかりやすく説明するためには、まず職員自身が制度を知る必要があります。

暮らしに笑顔を

す。そこで、今回若木寮で日頃お世話になっている司法書士の安田聡碩先生をお招きし成年後見制度についての勉強会を行いました。

勉強会では成年後見制度には成年後見・保佐・補助と区分

があること、任意後見と法定後見の種類があること、申し立ての手続き方法、成年後見人の権限と職務等をご説明頂いたのち、事例をもとに、より詳細な制度の利用方法を教えて頂きました。勉強会を経て、基本的な知識は身に付けたものの、実際に利用者が制度を利用する場面を考えると、足りない知識



安田先生作成のスライド：成年後見制度とは

五山の送り火みえるかな？ (大文字を観る会)

日時 2025年 8月16日(土)

受付開始 19:30〜 終了 21:00

場所 京都市聴覚言語障害センター 屋上

京都市聴覚言語障害センターの屋上でなかまたちと一緒に五山の送り火を楽しんでみませんか

※飲食は禁止とさせていただきます。

※参加者多数の場合、安全のため観覧人数の制限を行う可能性があります。ご了承ください。

※警報発令時は中止とさせていただきます。



「久しぶりね。元気？」

「気楽に過ごせる 良いところ」

いこいの村・梅の木寮ショートステイ
(短期入所)に行こう

利用日が
待ち遠しかった

毎月、一週間ご利用いただいている京都市内在住の赤城さん(86歳・男性・ろう者)は、「自宅で過ごすのも良いけれど、年を重ねて友人も亡くなったり病気になるったりで寂しい毎日を過ごしている。梅の木寮に行けば、昔馴染みの友人に会えて楽しくおしゃべりでき、遊びもあり、楽しい」といつも梅の木寮に入所されている友人に会いに行き、お話を楽しまれています。

バリアフリーな
施設

京都府南部からご利用のろう者の小野さん(96歳・女性・ろう者)は、息子さん夫婦と同居されていますが、お世話を受けることが申し訳ない、と、仰られます。

「家では、足が弱って出かけることが難しくなってきたけれど、梅の木寮は段差がなく、動きやすく、自由に過ごせて良いわ。職員も気にかけて見てくれるので安心できるの」と笑顔で話して下さいます。



おしゃべりしながら、ひまわりづくり

気軽に利用
しませんか

自由に、気兼ねなく過ごせると言って下さるたび、私たち職員もうれしくなります。

ショートステイは、利用者の心身の状態の維持、家族の介護負担の軽減などを目的としています。要介護認定を受けて、要支援1の方から要介護5の方が利用できます。

定員14人(全室個室)で、聴覚障害のある方々は綾部市を越えて京都府内全域や福井県南地域などに送迎車でお迎えに上がっています。

梅の木寮に来ていただくことで元気になっていただければと、昨年度、府内各地の地域活動支援センターにて紹介させていただきました。

いこいの村まつり2025

共に楽しく 笑っしょい 笑っしょい

日時 10月18日(土)
10時45分～15時
(受付:10時～、式典:11時～)

場所 いこいの村 敷地内

お子様連れのお客様も大歓迎♪



ボランティアも募集しています

お問い合わせ 担当: 前川恵子・引原直樹
TEL(0773)46-0101 FAX(0773)46-0610

P 駐車場多数あります。たくさんのご来場お待ちしております。

護保険の申請する必要があるのね」「これから先必要になるかも。覚えておくわ」との感想をいただきました。梅の木寮は、手話や筆談などコミュニケーションがしやすい環境が整っています。利用するろう者の方の中には、「同級生に久しぶりに会った」

「ここなら手話があつて、職員も友達とも自由に話ができて」「手話が通じなくても、筆談もできるから、気楽」と仰る方もいます。ぜひ、担当ケアマネジャーにご相談ください。皆様のお越しをお待ちしています。(施設第二福祉部 渡部泰之)

法人理念のさらなる追求に向けて 「事業運営の見直し」② 組織体制の強化

2025年6月、当法人の理事・監事及び評議員の任期満了に伴い、次期役員が選出されました。新しい理事長が選任され、また理事・評議員においても関係団体はもとより、関連する専門分野からも新たに学識者をお迎えしました。

新しい役員体制のもと、さらなる事業の推進と、適正な運営を図ってまいります。



第23期 評議員

▼任期 2025年6月18日
～2028年度決算に係る定時評議員会終結時まで

高山 正紀
山根 俊茂
船橋 信之助
加藤 敦樹
武田 知記
栗津 浩一
井上 ひろみ
森 義美
立本 圭吾
高島 通隆
久保村 利恵子



第25期 理事・監事・顧問

▼任期 2025年6月18日
～2026年度決算に係る定時評議員会の終結時まで

理事長 志藤 修史
業務執行理事 近藤 幸一
業務執行理事 今川 広江
業務執行理事 内川 大輔
理事 吉田 正雄
理事 河井 友佳
理事 滝野 千里
理事 藤井 秀雄
理事 森 善文
理事 酒井 弘
監事 岩城 宏允
監事 小出 新一
顧問 谷 文彰
顧問 高田 英一

(敬称略・順不同)



志藤 修史 理事長

ご挨拶

はじめ多くの市民の協力による後押しがあったことは言うまでもありません。これらは法人の持つ「力の源」であり、改めて、その大切さを感じています。

去る2025年6月18日開催の理事会において新たに理事長の重責を拝命し、就任することとなりました。本法人は1969年に開設された「京都ろうあセンター」を前身に、1978年には社会福祉法人として出発して以降、約半世紀に及ぶ歴史を築いて来ています。

この間、初代の岩崎彰之助理事長、前高田英一理事長と理事長職が引き継がれる中、京都市聴覚言語障害センター、京都府綾部市のいこいの村、京都府聴覚言語障害センターはじめ、京都府内各地に聴覚障害・難聴児者の生活の支援、社会参加の保障の場づくりが拡大されて来ました。

これはひとえに、当事者団体や関係団体による運動

一方で我が国の社会福祉をめぐる状況は、何らかの困難を抱える人やその家族に、また日々それらの方を支える現場の職員、手話通訳や要約筆記活動に参加・協力する方々に負担や我慢を強いる方向性が強化されています。しかしこのような状況の中にあっても、すべての人々の「完全参加と平等」、豊かなコミュニケーション、手話を含む言語選択の自由が保障された社会の実現に寄与する、また職員一人ひとりが誇りと自信を持って働け、働くことを通じて相互の人格的な成長ができる現場であり続ける、そのような法人でありたいと考えています。皆さまにおかれましては一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

職員紹介

いこいの村聴覚言語障害センター
総務部給食課
だけ 嶽 里美 (入職3年目)

主にいこいの村の梅の木寮の厨房で調理をしています。

前職は介護の仕事をしており、ミキサー食やソフト食など普段見ることのなかった食事形態、嚥下機能が弱っていても最後まで食べたいというその人自身の思いを尊重して、連携しながら食事を提供している様子に興味を持ち始めました。

食事の様子や美味しかったという声を直接生活者さんから聞くことがあるため、緊張をしつつもやりがいを感じています。



京都市聴覚言語障害センター
介護福祉部デイサービス課
好川 賢一 (入職33年目)

現在、京都市聴覚言語障害センターで「デイサービスセンターきこえの森」の相談員、介護職員を担当して2年目になります。毎日地域の高齢の方や京都市内の高齢ろうあ者の方といっしょに楽しく過ごせるにはどうしたらよいかと、考えつつ働いています。

利用者にとっても、職員にとっても、毎日毎日が大切な一日。デイサービスに来られた一日が「良かった」と思ってもらえたらいいなと、そんな仕事が出来たら良いなと思っています。

2025年度 第1回 みなみかぜひろば ～きこえない・きこえにくい方集まれ～

きこえない方・きこえにくさを感じている方が集い、ざっくばらんに生活のことや聞こえのことなどをおしゃべりします。きこえに悩んでいる方はどなたでも参加できます！

日時 8月20日(水)
13:30～15:30

内容 ヨメテル説明会
●説明・通話体験・登録
サポートします



いつでもご相談ください！ 電話リレーサービス登録窓口

- 電話リレーサービス・ヨメテルについて説明します
 - その場で登録できます
 - 通話体験ができます
- (その他最寄りの聴言センターでも相談・登録受付中)



窓口 京都市聴覚言語障害センター
(〒610-0121 城陽市寺田林ノ口11番64)
平日(月～金) 9:00～17:00

出張窓口 京都市聴覚言語障害センター
(〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町2)
毎月第3木曜日 9:00～17:00

問い合わせ申込先

京都府聴覚言語障害センター 担当宛
TEL(0774)30-9000 FAX(0774)55-7708

おめでとうございます

敬意を表すとともにお祝い申し上げます。

2025年春の叙勲・褒章



旭日小綬章 石野 富志三郎 様 (元全日本ろうあ連盟理事長・滋賀)



旭日双光章 大竹 浩司 様 (元大阪聴力障害者協会会長・大阪)

全日本ろうあ連盟

2025年度 厚生文化賞

高田 英一 様 (全日本ろうあ連盟参与・京都)

安藤 豊喜 様 (全日本ろうあ連盟参与・宮崎)

松本 晶行 様 (全日本ろうあ連盟参与・大阪)

法人後援会
会員の状況

2025年4月～2025年6月
までにご加入
278名 (新規 16名)
(継続 262名)

法人へのご寄付 敬称略

2025年4月1日～6月30日

地域	氏名	
中京区	多田玲子様ご家族	トートバッグ、寄附金 6,000円
南区	山本 寛	はがき

後援会へのご寄付 敬称略

2025年4月1日～6月30日

地域	氏名	
亀岡市	竹谷 明	ハガキ
亀岡市	竹谷 靖子	ハガキ
宇治市	高田 英一	ハガキ



社会福祉法人

京都聴覚言語障害者福祉協会

法人事業本部 TEL(直通) (0774) 30-9003

京都府聴覚言語障害センター

TEL(0774)30-9000(代) FAX(0774)55-7708

京都市聴覚言語障害センター

TEL(075)841-8336(代) FAX(075)841-8311

いこいの村聴覚言語障害センター

TEL(0773)46-0101(代) FAX(0773)46-0610



ホームページ
はこちら

詳しくは各事業所、またはホームページで <https://www.kyoto-chogen.or.jp/>